

校訓 および 教育目標		
1 知性の伸長（さとく）	2 人格の尊重（ゆたかに）	3 心身の健康（たくましく）
自己のもつ可能性を見いだしてその伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追求し、常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。	正しく自己を愛し、他をも愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。	心身の健康こそは全ての生活の根源である。清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志力と強靱な体力を身に付けるよう努める。

生徒の実態、教師の願い	学校保健の重点目標	保護者や地域の願い
<ul style="list-style-type: none"> 本校生は基本的な生活習慣が確立しており、落ち着いて学校生活を送っている。 主体性を持って行動し、自己の健康・安全管理を自発的に行う力を身につけさせたい。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒・教職員の健康管理能力の育成と健康の保持増進 校舎内外の環境整備、環境美化、安全衛生管理の充実 教育相談の充実 生徒保健委員会の活動促進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の拠点校として、心身共に健康であり、部活動にも積極的に取り組みながら進路希望を叶え、中学生の手本となる高校生像を実現する学校であるよう努めてほしい。

重点指導事項		
保健管理	保健教育	組織活動
<p>(1) 対人管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 疾病予防、感染症予防に努める。 健康観察、健康相談を通じ、悩みや問題を抱えている生徒の実態把握と理解に努め適切な援助を行う。 教育相談を行い、カウンセリングに努めるとともに、生徒の心の成長に資する。 <p>(2) 対物管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日の清掃活動を通し奉仕の精神や愛校心を育てる。また、主体的に清掃美化活動に取り組む姿勢を育む。 校内巡視を行うなど、学校環境の安全衛生管理に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断の結果を通じて自分自身の健康について学び、生活習慣を見直し、意欲的に学校生活に取り組む力のある生徒を育成する。 <p>【評価の項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 認識: 健康の価値を認識する 興味・関心: 健康課題に気づくと共に興味関心を持つ 知識・理解: 健康についての知識を身につけ理解する 思考力・判断力: 健康課題をよりよく理解するために考え、判断できる 意志決定・行動: 健康課題を解決するため意志決定し、行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健に関する委員会の活動の充実を旨とし、学校保健活動の円滑な実施を推進する。 <p>【学校保健の推進体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校保健委員会 教育相談委員会 いじめ問題対策委員会 <p>【家庭との連携】</p> <p>担任や部活動顧問、養護教諭等が連携し、本人及び家庭へ必要な助言を行い、連携を図る</p>

各学年の取り組み内容	
1年	<ul style="list-style-type: none"> 高校生活の入り口として、学習と部活動の両立を図るため学習計画シートを作成させ、見直しを持った計画を立て、規則正しい生活習慣の確立を目指す。 「薬物乱用防止講話」を実施し、生徒の健康保持推進の観点から、一人一人が薬物乱用と健康のかかわりについて、高校生としての早い時期から理解し、自らの心身を害する行為をしないという態度や習慣を身につけさせる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 中堅学年となり、生活のリズムが乱れることのないように、学年集会や進路講話などを通して自己の生活習慣を見直し生活習慣・学習習慣と学力の関係について気付かせ、自覚ある学校生活を営ませる。 修学旅行に際し、事前の健康調査を適切に行い自己の健康状態を把握させる。また、旅行前・旅行中の健康・安全管理について指導助言を行い、安全で有意義な旅行実現に向け、より良い意志決定と行動選択をする力を育成する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 高校生活の仕上げとして、自らの進路希望実現に向け積極的に、かつ、粘り強く取り組めるよう健康・安全管理について指導助言を行う。 受験に向け、コロナやインフルエンザ・胃腸炎などの感染症予防の意識を高め、健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育成する。

各教育活動における取組の観点	
教科	<ul style="list-style-type: none"> 体育、理科、くらしと安全、公民科をはじめとする各教科の学習の中の「生命の尊重」「心身の健康」に関わる内容を理解させ自己と他者のいのちを大切にすることを育み、自己の健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育成する。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 人間としての在り方、生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行い、豊かな心や健やかな体を育成する。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画を立て意欲的な学校生活を送れるよう自己の生活習慣を見つめ直し、心身の健康の確立と進路実現を図る。 通学防災マップ作成や防災講話等を通して自らの身を守るための知識と心構えを身に付ける。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事(体育祭、文化祭、球技大会)への自発的な参加を通し学校集団の一員として自己を生かす能力を養う。 薬物乱用防止講話等を通して、薬物乱用防止の意識を高め、安心安全な学校生活を送り、将来にわたって一人一人が自己の身体と精神の健康を保持増進させる意識を醸成させる。